

しゃくなげ共同作業所

だより

2012年 平成24年7月号 (No.25)



泰山木

たまには涙を みせたって

しゃくなげ共同作業所
Tel 075-852-1945

☆ **みんな一生懸命生きているんだもの！
作業所に一度見学を！**

*お問い合わせ先 京北出張所

- ・知的、身体の方 福祉担当 075-852-1815
- ・精神の方 保健担当 075-852-1816
- ・又は、当作業所までご連絡ください。
送迎のご相談もお受けします

> 6月の出来事 <

- 1日 民生委員さんと畑作業 (15、29日共)
- 2日 きょうされん第1回運営委員会・参加
- 8日 ほっとはあと総会 13:00・参加
- 13日 第16回昼食会・22名参加
- 15日 平成24年度第1回理事会
- 17日 福祉フェスタ 駅ビル 出店
京都精神保健福祉施設協議会・総会
- 19日 京都市事業所集団指導・京都テルサ
ウッディー京北 農産部会・参加
- 21日 ウッディー京北 木工工芸品部会

♡ 作業所に来ませんか ♡

身体、知的、精神の各手帳をお持ちの方・
作業所で、多くの仲間と一緒に働かせか。
作業だけでなく、昼食会、お誕生会など、も
りだくさんのレクリエーションもあります。

> 7月の予定 <

- 6日 精神交流会 合同庁舎 2階 14:00~
- 9日 避難訓練 (京北消防出張所:指導)
- 11日 第17回昼食会
- 17日 右京こころのNET 勉強会
- 19日 Uネット連絡会 サンサ右京
- 21日 きょうされん第2回運営委員会
- 26日 福祉屋台 サンサ右京 出店

> 京都精神総会! <

6月17日、キャンパスプラザ京都にて、【平成24年度京都精神保健福祉施設協議会・第11回総会】が催されました。記念講演として講師の吉岡隆氏による「人を助けるということ＝援助職援助論」の講演がありました。対人援助(人を助ける)の役割とは・自己の知識、技術の蓄積、
・セルフケア＝自己の身体的、精神的ケアなど対人援助するには、まず自分自身が元気でなければいけない。特にその仕事は際限がないため、不完全でピリオドを打たないと燃え尽きてしまう。自分を大切に、そして他人も。という、援助する側の人のことを講義していただきました。



☆ 総会 ☆



花・まっさかり

☆ 今年も元気に! ☆ 作業所: 癒しの池に夏きたる***

去年より植えた作業所の池の「睡蓮」が、今年も満開になり、また多数の「金魚」たちもますます大きくなり利用者さんの目を楽しませてくれています。まさに、暑い夏の畑作業のあいまに休憩する時の“オアシス”で皆さん癒されています。

> 連載・しゃくなげの女芭蕉たち <

早いもので、3月より掲載して、5回目となりました。M、Hのお二人さんも、日々四季の移り変わりに思いをはせ、互いに感性を磨いておられます。今後も良きライバルとして、いつまでも永くつづけてくださいネ・・・♪

歌声きこえる
七夕の
雨上がり



涼しげに
風鈴音色
戯れて

> 第16回 昼食会 <

13日、第16回の昼食会が22名参加のもと、行われました。作業所の新玉ねぎを使い、暑さも増しているこの時期、さっぱりとした“マリネ”を作ってみました。初参加のMさんが、調理も手伝ってくれて、たくさんの野菜を切ってくれました。初挑戦の“マリネ”豚肉がとってもやわらかく、「かぶとおあげの煮物」も、おいしく最高の出来上がりとなりました。まいど、好評御礼！



絶品・マリネ
とっても柔らか



みなさん大満足
大好評でした！

> きょうされん <

さる6月2日南丹市のクアスポくちたんで第1回の運営委員会がありました。この中で2つの問題が報告されました。

一つは東日本大震災で亡くなられた住民の死亡割合は0.8%、それに対して障害のある人の死亡割合は3.5%と約4倍であったことが報告されました。このことが明らかになるまで半年もかかっていること自体に平時の福祉施策の問題点が表れています。

もう一つは「障害者自立支援法」を一部手直ししただけの「障害者総合支援法」が衆議院で採決されました。これは自立支援法違憲訴訟団との合意文書が無視し、政府が設置した障がい者制度改革推進会議総合福祉部会の骨格提言をないがしろにした法律です。「応益負担」も残された大問題の法律です。

> お誕生会 <

27日、利用者さん1人、職員2人のお誕生会が20名の参加者によりお祝いしました。以前は少し体調不良でお休みが多かったMさんも最近では作業所が楽しいと、よく来られるようになりました。職員の女性は細くてかわいい2児の母、仕事と両立して頑張っています。もう1人男性職員も歳と戦いながらそれなりに頑張っています。



お花をそえてお祝い♪



みんなの期待を肩に！

> ほっとはあと総会 <

【ほっとはあとセンター】は、京都府下の作業所の応援団。京都駅ビル・嵐山の直営店では、各作業所の授産品を販売していただいています。総会では、昨年度の反省と今年度の課題を話し合いました。よりよい作業所運営のため、今年度は、授産品のさらなる普及促進・ほっとはあとブランドの構築・各支部活動のさらなる促進を約束しました。



ほっとはあと



GH・現在進行中

> 福祉フェスタ <

17日、ほっとはあとの「福祉フェスタ」が京都駅ビルの2階広場で催され、大盛況のもと、当作業所の授産品も好評でした。いつもの職員さんが1人、大きなバック一つ持って行き、布ぞうりや、ぞうりストラップ、正絹バックなど、多数販売し、「忙しいと疲れも忘れる」と、元気いっぱいにお客さんと話をしていました。利用者さんも、とっても感謝しています。お疲れ様でした。



どんどん大きくなーれ

6月、3日間、民生委員さんと利用者さんとの畑作業がおこなわれ、夏野菜の苗植えや、アスパラ、新玉ねぎ等の収穫が、行われました。有難うございました。

> グループホーム・利用者さんの声 <

Hさん：私は親と相談して、早い時期にグループホームに入所して、作業所を利用しながら、自立をめざしていきたいです。

Uさん：わたしは少し歳もいってるので、身の回りの事もだんだん、しんどくなってき、特に冬場は、雪や寒さのため、生活するのがつらいので、完成を期待して待っています。

> 民生委員さんと畑作業 <

> 善意の皆様へ感謝 <



EM 活性液

しゃくなげだよりの5月号に掲載しました「空ペットボトル下さい」に、京北の皆さんが対応していただき、多くの人が作業所に持ってきていただきました。これからも宜しくお願いします。♡♡♡